



【製品概要】

TS4は補償導線付きのシース熱電対で、金型温度や表面温度の計測等、汎用性の高い製品です。
 ルーズフランジ (LFL) やコンプレッションフィッティング (CFG) と組み合わせる事により、保護管長の調節が可能な挿入型として温度計測に使用できます。

【標準仕様】

- 素線種類 : T、J、E、K
- 許容差 : クラス1、クラス2
- 導線数 : シングル、ダブル
- 測温接点 : 非接地 (標準)
- 絶縁抵抗 : (φ2.0以下)
 100Vにて20MΩ以上 (φ2.3以上)
 500Vにて100MΩ以上

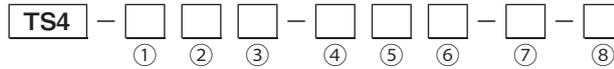
【特別仕様】

- ◇テフロンチューブ付き
- ◇シース部曲げ加工
- ◇シース材質NCF600 (インコネル)

【オプション】

- ◇ルーズフランジ (LFL) P91
- ◇コンプレッションフィッティング (CFG) P92
- ◇熱電対専用コネクタ (TKC) P94
- ◇補償導線 (TCW) P95

【型番構成】



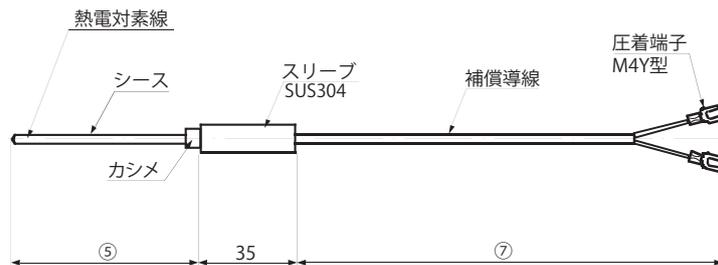
項目	コード	仕様
基本型式	TS4	補償導線付シース熱電対 ストレートタイプ
① 許容差	1	JISクラス1 ※補償導線クラス1使用の場合
	2	JISクラス2
	3	ANSISPECIAL
	4	ANSISTANDARD
② 素線種類	T	タイプST (銅・コンスタンタン)
	J	タイプSJ (鉄・コンスタンタン)
	E	タイプSE (クロメル・コンスタンタン)
	K	タイプSK (クロメル・アルメル)
③ 素線数	S	シングルエレメント
	D	ダブルエレメント
④ シース外径	A	φ1.0mm (SUS316) ※シングルエレメントのみ
	B	φ1.6mm (SUS316) ※シングルエレメントのみ
	C	φ2.3mm (SUS316)
	E	φ3.2mm (SUS316)
	F	φ4.8mm (SUS316)
	G	φ6.4mm (SUS316)
	H	φ8mm (SUS316)
	⑤ 挿入長	□□□
⑥ 補償導線	G	ビニール被覆
	H	ガラス被覆
	Z	上記以外の被覆材
⑦ 補償導線長	□□□	補償導線長さ (mm)
⑧ 特記事項	S	

※使用温度は素線種類及びシース外径により異なります。使用温度は55ページをご参照下さい。
 但し、55ページに記載の使用温度はシース部の使用温度です。スリーブ部の耐熱温度は80℃ (標準) となります。

※補償導線の使用温度範囲は下記の通りです。

被覆材	最高使用温度 (°C)	最低使用温度 (°C)
耐熱ビニール	90	-20
ガラス編組	150	0

【外形図】



→極細タイプは79ページをご覧ください